

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12・13	○職員を育てる取り組み 正規職員2名の退職後、採用を進めてきたが人員状況が整わず余裕がない勤務体制で、一人一人の経験等に見合った研修や、人材育成まで行う体制が取れなかった。コロナの影響で研修参加も困難な状況があった。	・早期に人員体制を整え、個々の能力や希望もふまえそれぞれのステップアップを図りたい。コロナ禍において、オンライン研修等も利用して行く。キャリアパスにもとづいた研修を目指し、運営体制も整えていく。 ・就業環境を改善する(休憩時間の確保等)	・職員募集を全国にも幅を広げて、確保に努めてきた。今現在3名の職員確保ができ研修を行いながら取り組んでいる。研修が少しずつ再開されつつあることもふまえ、早期に職員体制を整え次の段階に進めていける様努めている。 ・人員体制が整い次第休憩等確保できるよう努めていく	1～2年
2	35	○災害対策 マニュアルはあるが見直しや取り組みがなされていない。通常の勤務の中でも大切と感じながらもなかなか職場として取り組めなかったことである。防災管理者の下、有事に備え体制づくりを整えたい	・各自が防災に関して常日頃から意識を持つ ・防災訓練を実施後は反省、振り返りを行い課題を明確にし次回につなげられるように常に改善していく	・災害対策や防災へ意識を高められるよう、より施設の状況に見合った対策ができる様研修会に参加し学んでいく ・管理者・防災管理者が中心となりできる限り職員全員が訓練に参加、地域を含めてともに協力しあえる体制を構築する。	1～2年
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。